

()年 ()組 ()番 氏名 ()

12

故事成語

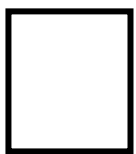
1 次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 漁夫の利

1 兄とぼくは、残りのケーキをどちらが食べるのかで、もめていた。父が来てぼくたちを注意している間に、妹が食べてしまった。妹にとって**漁夫の利**だ。

2 私たちの学級では、学年で行われるなわとび大会での一位をめざし、他の学級よりもずっと前から練習を始めた。だから一位になれたのは、**漁夫の利**だ。

3 私はサッカーチームに入っている。コーチのアドバイスはきびしいが、**漁夫の利**というから、すなおに聞こう。

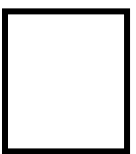


二 蛍雪の功

1 わたしは、ほたるが美しいことで有名な川をおとずれ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。今度は北海道にも旅行するつもりでいる。まさに**蛍雪の功**だ。

2 兄の小さいころからのゆめは、パイロットになることだった。だから夜間もずっと本を読んでいた。今年、兄がパイロットになったのは、まさに**蛍雪の功**だ。

3 わたしは、夏休みの宿題がまだ終わっていない。まさに**蛍雪の功**で取り組まないと、間に合わないだろう。



()年 ()組 ()番 氏名 ()

12

故事成語

1 次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 漁夫の利

1 兄とぼくは、残りのケーキをどちらが食べるのかで、もめていた。父が来てぼくたちを注意している間に、妹が食べてしまった。妹にとって**は漁夫の利だ**。

2 私たちの学級では、学年で行われるなわとび大会での一位をめざし、他の学級よりもずっと前から練習を始めた。だから一位になれたのは、**漁夫の利だ**。

3 私はサッカーチームに入っている。コーチのアドバイスはきびしいが、**漁夫の利**というから、すなおに聞こう。

1

二 蛍雪の功

1 わたしは、ほたるが美しいことで有名な川をおとずれ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。今度は北海道にも旅行するつもりでいる。**まさに蛍雪の功だ**。

2 兄の小さいころからのゆめは、パイロットになることだった。だから夜間もずっと本を読んでいた。今年、兄がパイロットになったのは、**まさに蛍雪の功だ**。

3 わたしは、夏休みの宿題がまだ終わっていない。まさに**蛍雪の功**で取り組まないと、間に合わないだろう。

2